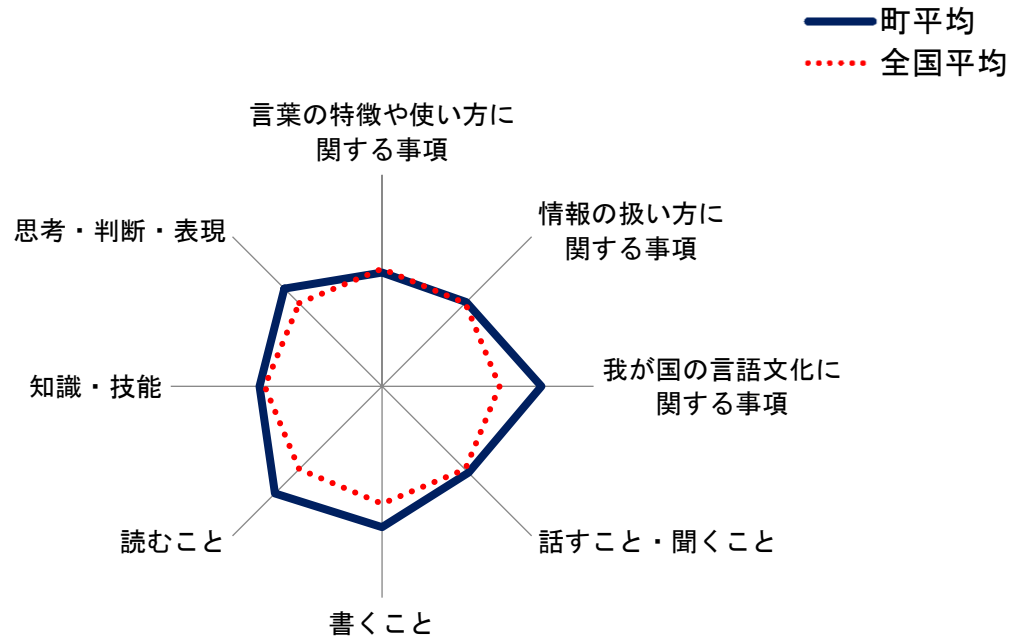
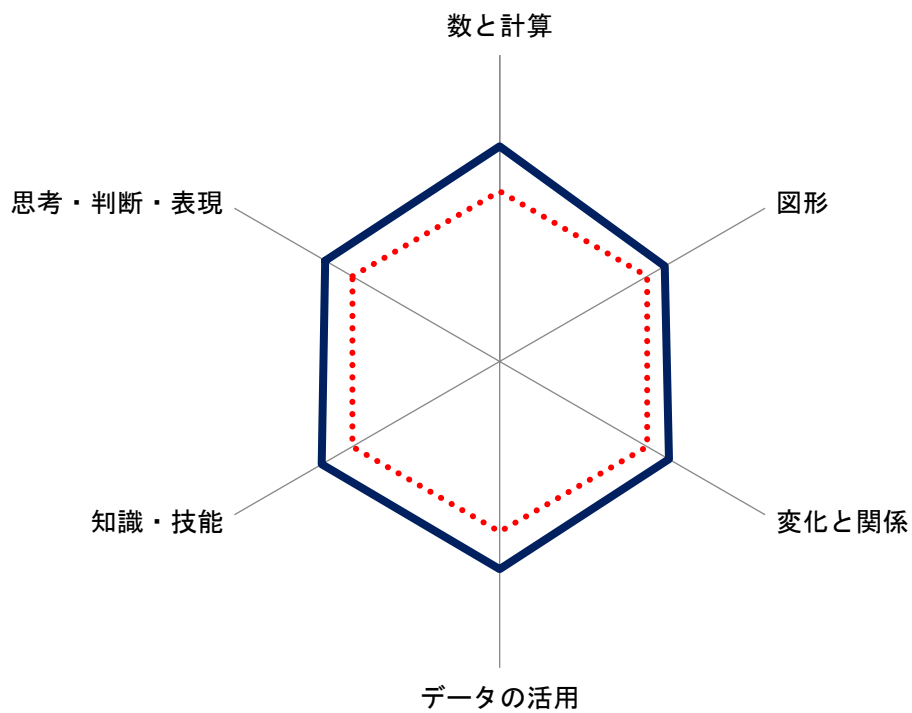


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

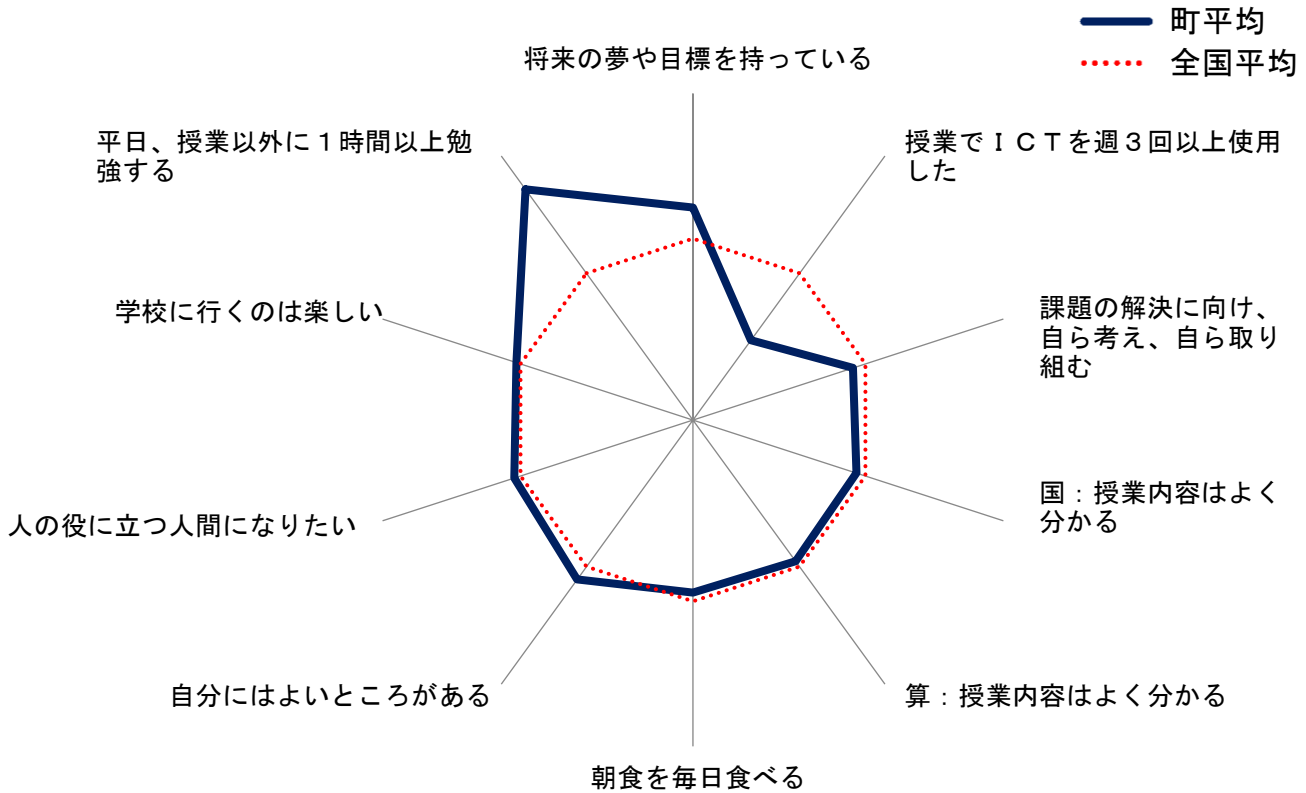
【国語】



【算数】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数のほとんどの項目が全国平均を上回っている。特に、国語の「我が国の言語文化に関する事項」「読むこと」の項目は全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果である。引き続き、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続することで、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

児童質問調査では、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」「将来の夢や目標を持っている」の項目が全国平均を大きく上回っており、キャリア教育の充実と主体的に学習に取り組む態度の育成を図る取組の成果がうかがえる。また、国語や算数の「授業の内容はよく分かる」の項目は、前回調査に比べて全国平均との差が小さくなっており、改善傾向が見られる。今後は、ICTを効果的に活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることで、児童にとって「分かる、できる」を実感できる授業となるよう、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善をより一層推進することが望まれる。